

日本共産党

森本ふみお

後援会ニュース

2008年

6月26日

No62

日本共産党森本ふみお後援会事務所

井原市木之子町2721-23

TEL62-6061 FAX62-6081

井原市議会 6月定例会

後期高齢者医療制度の廃止請願は継続審査に

井原市議会6月定例会が6月9日から20日まで開かれました。この議会の中で、4月から実施されている後期高齢者医療制度に関わって、この制度の廃止を求める請願と陳情が審議され、どちらも「継続審査」になりました。

日本共産党の森本議員と石井議員は採択して国に意見書を上げるべきだという意思表示をしました。

この制度は、高齢者の尊厳を踏みにじり、医療差別と耐えがたい負担を押し付ける世界でも例を見ない制度です。中止、廃止を求める国民の世論が沸騰し、5月25日の民放テレビで、自民党の中曽根康弘元首相が「名前が実に冷たい、愛情の抜けたやり方に老人が全部反発している」、「至急、元に戻して考え直す姿勢をはっきりしめす」ことを求めています。また、塩川元財務総や堀内自民党元総務会長らも、この制度について厳しく批判をしています。

この制度は、存続すればするほど国民を苦しめるしくみです。「長寿医療」などとは真反対に、医療費削減のための高齢者差別法であります。したがって制度の根幹が悪い内容であるものを、政府、自民党、公明党がいうように一部の枝葉を修正したからといって、根幹は悪いままであることは間違いありません。国民から総すかんを受けている問題の多い制度はいったん廃止して、3月まで実施していた老人健康保険法にもどし、財源問題も含め、国民すべてが安心できる医療制度について、国民的討論で合意を作るようにすべきだと考えます。そうすれば市民の不安は解消すると思います。

この請願・陳情の審議、採決に当たって、市民福祉委員会では川上武徳議員が、議会最終日の本会議では、公明党の佐藤議員がそれぞれ「この請願は不採択とすべき」と発言しました。市民の強い批判の声もあり、市議会全体でも不採択の結論を出しにくく、議会最終日、とりあえず市議会休会中に審議をする「継続審査」に落ち着きました。



井原市政に対するご意見・ご要望をお寄せください。

井原市議会9月定例会は、9月8日(月)が開会予定日です。この議会に向け、これから皆様の声を聞きながら質問の準備をします。

皆様のご意見・ご要望が1つでも多く実現するよう奮闘したいと考えています。皆様の井原市政に対するご意見・ご要望を、お近くの党員か下記の電話・FAXにお気軽にお寄せください。

日本共産党後援会事務所

TEL 62-6200

FAX 62-6209

森本ふみお宅

TEL 62-6061

FAX 62-6081

石井 敏夫宅

TEL 62-4667

FAX 62-4726

周りの人に「日本共産党森本ふみお後援会」への入会をお勧めください。

Q & A 日本共産党 知りたい・聞きたい **日本共産党のHPより****日本農業の持つすばらしい力とは？**

〈問い〉 これからの世界的な食料事情を考えると、日本の農業のもっている国際的な役割、国内的な役割を見直す必要があると思っています。日本共産党は、日本農業のもつ役割についてどう考えていますか？（宮城・一読者）

〈答え〉 日本の農業について、財界などから「競争力がない」などと、一生懸命に頑張る農家の努力を足蹴（あしげ）にするような発言がよくあります。しかし、日本の農業には、素晴らしい能力があります。

何よりも、日本の農業生産力の高さです。

農地1ヘクタールで何人の人を養えるかをみると、オーストラリアは0.1人、アメリカは0.8人、イギリスは2.6人、フランスは2.9人、ドイツは4.5人です。これにたいして、日本は、10.5人です。

日本では、水田という最も高い生産力をもつ農地が中心となっているからです。そして、日本の農業、農業者が、優秀だからです。

いま世界には飢餓（きが）で苦しむ人が8億5千万人もいて、その解決が環境問題と並んで人類的な課題となっています。とりわけ最近では、世界的な食料不足があきらかになり、食料の増産が迫られています。そのもとでわが国が、狭い大地で大きな人口を支えてきた力をいまこそ最大限に発揮して農業を多面的に発展させ、食料自給率を向上させることは国際社会への大きな責務です。

また、日本がもっている豊かな農業生産力、農業者・農業研究者・農業技術者の努力で作りにしてきた農業技術などは、飢えに苦しむ途上国に生かせば世界的な農業生産力の向上にも貢献することになるでしょう。

農業には、その生産活動を通じて、国土の保全、水資源の涵養（かんよう）、自然環境や美しい景観の形成、伝統文化や食文化の継承など、国民の暮らしや環境をまもるうえで欠かせない役割があります。

農業の多面的な役割は、各国の自然条件や農業生産の内容によっても違いますが、日本の場合、中山間地域や水田の果たす役割が非常に大きいのです。

中山間地域にある水田は、一般に河川の上流にあることから、大雨が降ったときに水量を調節するダムを果たし、下流の都市を洪水からまもります。

また、棚田は美しい景観や生態系の保存にとって欠かせない役割をもっています。

これだけの素晴らしい能力のある日本の農業を「国際競争力がない」などと否定するのは根本的な間違いです。農業を壊してきた自民党政治の責任がきびしく問われています。

ご意見・ご要望および情報をお気軽にお聞かせください。